



2023年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社まんだらけ

上場取引所 東

コード番号 2652 URL <https://www.mandarake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 幹教

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 川代 浩志

TEL 03-3228-0007

定時株主総会開催予定日 2023年12月22日

配当支払開始予定日

2023年12月25日

有価証券報告書提出予定日 2023年12月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の業績(2022年10月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	12,839	21.2	1,874	100.6	1,852	104.4	1,248	112.5
2022年9月期	10,588	10.0	934	55.5	906	59.5	587	64.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	188.45		13.8	10.7	14.6
2022年9月期	88.68		7.2	5.5	8.8

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 百万円 2022年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	17,920	9,616	53.6	1,451.59
2022年9月期	16,672	8,374	50.2	1,264.10

(参考) 自己資本 2023年9月期 9,616百万円 2022年9月期 8,374百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	1,191	257	309	1,470
2022年9月期	562	118	334	845

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期		0.00		1.00	1.00	6	1.1	0.0
2023年9月期		0.00		1.00	1.00	6	0.5	0.0
2024年9月期(予想)		0.00		1.00	1.00			

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,612	5.0	1,016	6.2	1,005	6.3	674	6.3	101.75
通期	13,481	5.0	2,011	7.3	1,986	7.2	1,338	7.2	202.09

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期	7,236,000 株	2022年9月期	7,236,000 株
期末自己株式数	2023年9月期	611,286 株	2022年9月期	611,238 株
期中平均株式数	2023年9月期	6,624,729 株	2022年9月期	6,624,762 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、経済活動は緩やかに持ち直しの動きがありました。しかし、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を起因とした原材料やエネルギー価格の高騰に加え、世界的な金融引締めに伴う影響など先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する中古商品業界におきましては、依然として続く消費者の将来に向けた不安感から生活防衛意識の高まりが持続され、節約志向に基づきます中古品全般の需要はさらに加速の傾向を強めており、また新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴いました、お客様のご来店の回復に加え、通信販売へと向かいました消費者の購買動向も衰えることのない社会情勢にあつて、業者間の競争は一層、激化する局面を迎えております。

このような事業環境のもとで当社は、最新の商品からマニアックな希少品まで、新たな商材の掘り起こしと、その市場の創出と定着を図る方針を継続し、店舗にあつては増床や改装を行い、ECサイトにあつては迅速なWeb掲載推進と掲載数の増加を実践し、店頭販売と通信販売の両面で品揃えの拡大と充実を進めました。当社は、買い取りの強化告知などで、その取扱商品に対する世間の関心をとらえ、掘り起こしました多種多様な商品は、店頭及びWeb上で国内外を問わずに紹介しており、全世界のコレクターをはじめ一般のお客様まで幅広く、潜在的ニーズを引き出す営業活動を展開しております。

当社は基幹のPOSシステムに蓄積されたデータを用いて、買い取り実績のある商品は仕入から販売、保管の状況を一貫して把握し、需要動向や在庫状況に応じ迅速で的確な価値判断をすることによって、仕入の拡充を進めております。新規取り扱ひの商品は、直ちにマスターデータを登録しており、登録後もまたデータ整備と更新を欠かさずに行い、常に最新の仕入動向に基づいた確度の高い販売可能性を追求、他社に先がけてその魅力を伝え、市場の創出と育成を図っております。当社は「適正価格で買い取る」という基本方針の徹底によって多数の良質な商品を買ひ取り、多様な品揃えの展開で、お客様の満足度を高めてまいりました。

販売面におきましては、まんだらけSAHRA（サーラ）を主力としたWeb通信販売が堅調な売上を維持しており、当社独自の電腦マーケット「ありある」を加えますことで、販路の拡大を進めております。また当社は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きを背景とした、お客様のご来店機会の回復傾向を受け、店舗の増床や改装によって常に新しい店頭展開を図りながら、専門的な商品紹介と多様な品揃えの拡充を通じ、お客様の満足度を高めることで、売上増加に向けてまいりました。

これらの営業展開によりまして、当事業年度の売上高は12,839百万円（対前年同期比21.2%増）となり、経常利益は1,852百万円（対前年同期比104.4%増）に、当期純利益は1,248百万円（対前年同期比112.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、前事業年度末から1,248百万円増加して17,920百万円となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末から1,179百万円増加して11,520百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加624百万円、商品及び製品の増加479百万円によるものであります。

固定資産につきましては、前事業年度末から69百万円増加して6,399百万円となりました。これは主に、2023年10月に新規オープンした京都店の設備工事や既存店舗のリニューアルによる固定資産の取得があつた一方で、減価償却が進んだことによるものであります。

流動負債につきましては、前事業年度末から285百万円増加して4,894百万円となりました。

固定負債につきましては、前事業年度末から278百万円減少して3,409百万円となりました。これらは主に、借入金返済が進んだ一方で、当期純利益の増加に伴う未払法人税等の増加があつたことによるものであります。

純資産は、当期純利益1,248百万円の確保による利益剰余金の増加があり、前事業年度末から1,242百万円増加して9,616百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末と比較して624百万円増加し、当事業年度末残高は1,470百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、1,191百万円となりました。これは主に、税引前当期純利益1,852百万円、減価償却費218百万円が、支出における棚卸資産の増加483百万円、法人税等の支払額466百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に用いた資金は、257百万円となりました。これは主に、京都店、その他の店舗設備工事等に伴う有形固定資産の取得による支出229百万円、Web通販のシステム拡張等に伴う無形固定資産の取得による支出7百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、309百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出4,541百万円、長期借入金の返済による支出1,020百万円、社債の償還による支出40百万円が、短期借入れによる収入4,500百万円、長期借入れによる収入800百万円を上回ったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
自己資本比率	46.7	46.9	48.3	50.2	53.6
時価ベースの自己資本比率	25.6	20.9	26.5	23.7	64.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	30.3	17.2	11.4	5.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	5.0	9.6	15.1	34.3

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期におけるわが国経済の見通しにつきましては、社会経済活動は緩やかな回復基調が続きながらも、中国経済の先行き懸念に加え、円安基調が続く可能性の高まりに物価上昇など、依然として個人消費の先行きは不透明に思われます。

このような環境のなかで、当社は引き続き積極的に営業を展開してまいります。各店舗における買い取りを強化し、当社の強みである希少で良質な商品の充実に努め、これらの商品の店頭販売に加えまして、まんだらけSAHRA（サーラ）を主力としたWeb通信販売、年6回開催しているオークション大会、独自の電腦ショップ「ありある」の定着化などにより、全世界に向け多様な販売を推進してまいります。その他、中野店をはじめいたします全店舗参加による「大まん祭」を継続して年1回開催し、定例の大規模販売イベントとして新規顧客層の獲得を図り、知名度の向上を目指すなど、お客様に楽しんでいただける新たな機会の創造と浸透を追求してまいります。

次期におきましては、新たな通販倉庫設備の拡大に向けました取り組みを進め、今後の営業展開における準備を推進してまいります。

このような営業展開によって次期の業績見通しを、売上高13,481百万円（前期比5.0%）、営業利益2,011百万円（前期比7.3%）、経常利益1,986百万円（前期比7.2%）、当期純利益1,338百万円（前期比7.2%）と予測しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	845,471	1,470,194
売掛金	292,343	360,024
商品及び製品	9,047,292	9,526,930
仕掛品	2,575	4,760
原材料及び貯蔵品	18,228	19,587
前払費用	51,505	45,760
未収入金	30,973	29,743
その他	53,820	65,789
貸倒引当金	△400	△1,900
流動資産合計	10,341,810	11,520,890
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,097,440	5,155,590
減価償却累計額	△2,450,587	△2,576,650
建物(純額)	2,646,852	2,578,940
構築物	298,480	298,480
減価償却累計額	△106,670	△118,314
構築物(純額)	191,810	180,166
機械及び装置	214,231	214,231
減価償却累計額	△142,967	△155,895
機械及び装置(純額)	71,263	58,335
車両運搬具	20,125	20,125
減価償却累計額	△18,877	△19,293
車両運搬具(純額)	1,248	831
工具、器具及び備品	1,073,606	1,213,194
減価償却累計額	△821,148	△876,405
工具、器具及び備品(純額)	252,458	336,789
土地	2,216,136	2,251,217
建設仮勘定	2,088	2,969
有形固定資産合計	5,381,858	5,409,249
無形固定資産		
ソフトウェア	31,732	30,170
無形固定資産合計	31,732	30,170

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	662	1,039
出資金	830	830
長期貸付金	17,260	18,570
長期前払費用	2,980	13,460
繰延税金資産	566,143	579,155
差入保証金	346,200	365,772
貸倒引当金	△17,260	△18,570
投資その他の資産合計	916,816	960,258
固定資産合計	6,330,407	6,399,679
資産合計	16,672,218	17,920,570
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,350	21,407
短期借入金	2,666,200	2,624,400
1年内返済予定の長期借入金	931,264	986,918
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払金	263,732	368,088
未払費用	63,261	86,388
未払法人税等	350,356	502,335
契約負債	94,404	40,420
預り金	34,678	77,304
賞与引当金	57,543	64,366
株主優待引当金	89,784	82,949
流動負債合計	4,609,576	4,894,578
固定負債		
社債	80,000	40,000
長期借入金	2,731,862	2,455,294
退職給付引当金	818,654	852,421
資産除去債務	57,787	61,890
固定負債合計	3,688,303	3,409,606
負債合計	8,297,879	8,304,185

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金		
資本準備金	1,117,380	1,117,380
資本剰余金合計	1,117,380	1,117,380
利益剰余金		
利益準備金	3,000	3,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	333	333
別途積立金	2,318,000	2,518,000
繰越利益剰余金	4,230,885	5,272,723
利益剰余金合計	6,552,218	7,794,056
自己株式	△132,879	△132,932
株主資本合計	8,374,159	9,615,944
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	179	440
評価・換算差額等合計	179	440
純資産合計	8,374,338	9,616,385
負債純資産合計	16,672,218	17,920,570

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高		
商品売上高	10,496,498	12,721,859
製品売上高	92,301	117,644
売上高合計	10,588,800	12,839,503
売上原価		
商品期首棚卸高	8,455,911	8,965,757
当期商品仕入高	5,289,785	6,259,947
合計	13,745,697	15,225,705
商品期末棚卸高	8,965,757	9,427,366
商品売上原価	4,779,940	5,798,338
製品期首棚卸高	82,543	81,534
当期製品製造原価	28,820	36,975
合計	111,364	118,510
製品期末棚卸高	81,534	99,564
製品売上原価	29,829	18,946
売上原価合計	4,809,770	5,817,285
売上総利益	5,779,030	7,022,218
販売費及び一般管理費		
役員報酬	166,286	184,284
給料及び賞与	1,471,132	1,578,078
雑給	649,642	648,644
貸倒引当金繰入額	1,660	2,810
賞与引当金繰入額	57,543	64,366
株主優待引当金繰入額	71,407	60,031
退職給付費用	63,279	56,595
法定福利費	333,623	338,512
福利厚生費	36,859	43,899
賃借料	542,579	545,942
租税公課	113,048	149,818
減価償却費	238,656	218,212
消耗品費	90,444	104,413
その他	1,008,799	1,152,466
販売費及び一般管理費合計	4,844,962	5,148,076
営業利益	934,067	1,874,142

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	33	34
為替差益	2,184	1,360
助成金収入	1,360	-
奨励金収入	2,950	6,454
物品売却益	1,515	1,073
雑収入	4,329	6,171
営業外収益合計	12,379	15,101
営業外費用		
支払利息	36,153	34,078
社債利息	792	392
支払手数料	2,165	749
雑損失	1,212	1,134
営業外費用合計	40,323	36,355
経常利益	906,123	1,852,888
特別損失		
有形固定資産除却損	1,025	149
無形固定資産除却損	517	-
特別損失合計	1,542	149
税引前当期純利益	904,580	1,852,738
法人税、住民税及び事業税	333,258	617,403
法人税等調整額	△16,158	△13,127
法人税等合計	317,099	604,276
当期純利益	587,480	1,248,462

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)		当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 経費	※2	29,057	100.0	39,160	100.0
当期総製造費用		29,057	100.0	39,160	100.0
期首仕掛品棚卸高		2,338		2,575	
合計		31,396		41,735	
期末仕掛品棚卸高		2,575		4,760	
当期製品製造原価		28,820		36,975	

前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1. 原価計算の方法 個別原価計算を採用しております。	1. 原価計算の方法 同左
※2. 経費の主な内訳	※2. 経費の主な内訳
外注費 22,866千円	外注費 31,928千円
原稿料 2,505千円	原稿料 2,858千円

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2021年10月1日 至2022年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
				特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,218,000	3,750,029	5,971,362
当期変動額								
剰余金の配当							△6,624	△6,624
当期純利益							587,480	587,480
別途積立金の積立						100,000	△100,000	—
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	100,000	480,856	580,856
当期末残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,318,000	4,230,885	6,552,218

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△132,879	7,793,303	110	110	7,793,413
当期変動額					
剰余金の配当		△6,624			△6,624
当期純利益		587,480			587,480
別途積立金の積立		—			—
自己株式の取得	—	—			—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			68	68	68
当期変動額合計	—	580,856	68	68	580,924
当期末残高	△132,879	8,374,159	179	179	8,374,338

当事業年度(自2022年10月1日 至2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,318,000	4,230,885	6,552,218
当期変動額								
剰余金の配当							△6,624	△6,624
当期純利益							1,248,462	1,248,462
別途積立金の積立						200,000	△200,000	—
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	200,000	1,041,838	1,241,838
当期末残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,518,000	5,272,723	7,794,056

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△132,879	8,374,159	179	179	8,374,338
当期変動額					
剰余金の配当		△6,624			△6,624
当期純利益		1,248,462			1,248,462
別途積立金の積立		—			—
自己株式の取得	△53	△53			△53
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			261	261	261
当期変動額合計	△53	1,241,785	261	261	1,242,046
当期末残高	△132,932	9,615,944	440	440	9,616,385

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	904,580	1,852,738
減価償却費	238,656	218,212
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,273	6,822
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	28,372	33,767
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,660	2,810
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	5,906	△6,834
受取利息及び受取配当金	△39	△40
支払利息	36,945	34,470
為替差損益 (△は益)	△2,184	△1,360
有形固定資産除却損	1,025	149
無形固定資産除却損	517	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,088	△67,680
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△508,629	△483,181
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3	3,056
その他	108,882	99,375
小計	797,874	1,692,305
利息及び配当金の受取額	39	40
利息の支払額	△36,991	△34,711
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△198,857	△466,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	562,064	1,191,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△75,895	△229,947
無形固定資産の取得による支出	△26,543	△7,954
敷金の差入による支出	△16,309	△19,572
敷金の回収による収入	158	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,590	△257,474
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,300,000	4,500,000
短期借入金の返済による支出	△3,649,800	△4,541,800
長期借入れによる収入	400,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,312,582	△1,020,914
社債の償還による支出	△66,000	△40,000
自己株式の取得による支出	-	△53
配当金の支払額	△6,412	△6,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△334,794	△309,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	443	221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	109,123	624,722
現金及び現金同等物の期首残高	736,348	845,471
現金及び現金同等物の期末残高	845,471	1,470,194

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準の適用指針が財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社は、中古品販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)		当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	
1株当たり純資産額	1,264.10円	1株当たり純資産額	1,451.59円
1株当たり当期純利益	88.68円	1株当たり当期純利益	188.45円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
損益計算書上の当期純利益(千円)	587,480	1,248,462
普通株式に係る当期純利益(千円)	587,480	1,248,462
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	6,624,762	6,624,729
当期純利益調整額(千円)	—	—
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。